

明治大学 2019 年度【夏期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修先名	ケンブリッジ大学コーパスクリスティ・カレッジ
所 属	政治経済学部 経済学科 2年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

Academic English では五つの班に分かれ、イングランドの文化・歴史などに関する仮説を立て、実際にイングランドに住む人々にアンケートを実施し、仮説が正しいかどうかを検証した。最終日には、PA・James・他の班の前で約 10 分間のプレゼンテーションを行った。私の班はミュージカルに関する仮説を立て、アンケートの質問やパワーポイントの作成を分担して行い、学年の違う友人とも信頼を深め合えた。Journalism Course では Journalism や News とは何かを明確にすることから講義が始まり、Media Bias や Objective、記事の構成について学んだ。課題として記事を書いたり、ラジオの録音も行った。当該留学の参加動機の一つとして Journalism への関心を挙げていた私にとって、とても刺激的な講義だった。Journalist に求められることや記事を書く際の情報の整理方法を理解できた。Art and Architecture Course では前半は絵画を扱い、後半は建築を扱った。前半では、絵画の技法・ジャンル・見方などを美術史に沿って、専門的に学んだ。また、Art とは何かを考える良い機会になった。後半では、建築様式やその特徴を学んだ。留学前は何となく芸術作品を鑑賞していたが、作品を鑑賞する際の視点を獲得できた。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

週末はロンドンへ計 4 回行き、大英博物館・ナショナルギャラリー・ウェストミンスター寺院・チャーチル戦時執務室・帝国戦争博物館などを訪れた。たくさんの歴史的遺産や大都市ロンドンでの人々の営みを目の当たりにした。日本では絶対に経験不可能な体験を数多くし、自分の視野が広がった。また、セブンシスターズも訪れた。セブンシスターズはイングランド南部に位置するチョーク質の断崖であり、最大の高さは 150m 以上に上る。いくつもの丘を越え、ケンブリッジから片道 3 時間かけてたどり着いた。ヨーロッパ大陸とイングランド間の美しい海、広大な草原、そして眼前遙か彼方まで続く白い断崖は言葉にできないほど素晴らしかった。フォーマルディナーや PA の方が企画してくださったレクリエーションでは PA や先生、学部学年の違う友人たちと会話ができ、盛り上がった。今後の人生で二度と行くことがないかもしれないイングランドで素晴らしい時間を過ごせた。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

食事は三食すべてバイキング形式で、朝食はパン・ポテト・卵などが出され、このメニューは滞在中変化しなかった。昼食・夕食は日替わりで、正直、口に合わない料理もあったが、食べられないほど不味いわけではなく、食べられることに感謝をして食事をした。朝食ではホットウォーターが出たため、日本から持参した味噌汁を毎日飲んだ。イングランドの気温が日本よりも低いことは了解していたが、朝は約 10 度まで低下し、かなり寒かった。日中になると気温は 20 度台まで上昇するが、持参したパーカーが役立った。ケンブリッジ大学の寮から徒歩 5 分に位置するスーパーマーケットは水を買うために 3 回利用した。寮の中に冷蔵庫・電子レンジ付きのキッチンがあったので、水を何本か買いだめして冷蔵庫で冷やした。スーパーマーケットのみならず、多くの店が 17 時に閉店することに驚き、初めは不便だなと感じた。他にも、洗面所の水の温度調整が出来ないことやシャワーから温水が出なくなる時があったことなど困ったこともあったが、滞在二週間目には気にならないくらいに慣れ、これら全てが自分にとって貴重な経験になると考えて生活した。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

この留学は私の学習への意欲を確実に向上させた。留学中に、私は未知の世界に触れ、私の知らないことや不足しているものが多くあると痛感したからだ。第一は英語だ。自分により高い英語力が身につけていけば、PA や先生とさらに深く面白い話ができるのに、と思うことが何度もあった。とっさに単語が思い出せなくなることもあった。そのため英語力、特に話す力の向上は今後の課題だ。留学前の自分は消極的な性格で人に話しかけたり、自分から行動することが苦手だった。しかし、留学中、知らない人に英語で話しかけたり、ロンドンで一人旅を行う中で積極性を身につけられた。今後も積極的に様々なことに挑戦し、視野を広げなければならない。また、Journalism Course と Art and Architecture Course で学んだことも生かさなければ意味がない。新聞を読むときは記事の構成を捉え、当該記事の 5w1h は何か、Bias はないか、Objective かどうか注目したい。芸術作品を鑑賞する際もジャンルや技法、作品の時代背景などに着目し、より深く作品を楽しみたい。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

セブンシスターズの絶景。

写真では伝わりにくい言葉にできないほど壮大な光景だった



【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします (学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。